



NEW

# 県立病院ニュース

～病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して～

第164号 令和4年6月 病院局発行

## 令和3年度の病院事業会計決算は 17.1億円の黒字となりました

- ▶ 令和4年5月30日に令和3年度決算概要を発表しました。医業損益が改善するとともに**純損益は昨年度に引き続き黒字**となりました。
- ▶ 令和3年度決算は、緊急的な取組による収支改善努力の効果に加え、昨年度に引き続き、県立病院としての役割を果たし、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れによる補助金の交付を受けたことで、最終的に大幅な増益となりました。
- ▶ 今回の決算結果に基づき将来収支を試算すると、平成30年度決算時点で令和2年度に見込まれていた**内部留保資金の枯渇は、令和8年度まで先送り**になると見込んでいます。
- ▶ ただし、内部留保資金不足の見込みが解消されたわけではなく、**新型コロナウイルス感染症収束後の患者数の回復が不透明**であるため、**引き続き危機感を持った経営改善の取組が必要な状況**です。

収益的収支(税抜)

(単位:億円、%)

|           | R3決算    | R2決算    | 増減額 (増減率)       |
|-----------|---------|---------|-----------------|
| 医業収益      | 575.2   | 562.0   | 13.2 ( 2.3 )    |
| 診療収益      | 564.7   | 552.0   | 12.7 ( 2.3 )    |
| その他医業収益   | 10.5    | 10.0    | 0.5 ( 5 )       |
| 医業費用      | 715.1   | 706.0   | 9.1 ( 1.3 )     |
| 給与費       | 368.5   | 371.7   | ▲ 3.2 ( ▲ 0.9 ) |
| 材料費       | 196.3   | 191.2   | 5.1 ( 2.7 )     |
| 経費        | 99.5    | 95.0    | 4.5 ( 4.8 )     |
| 医業損益      | ▲ 140.0 | ▲ 143.9 | 3.9             |
| (補助金)     | 45.6    | 37.2    | 8.4 ( 22.7 )    |
| (一般会計繰入金) | 100.2   | 101.8   | ▲ 1.6 ( ▲ 1.5 ) |
| 医業外損益     | 157.0   | 146.2   | 10.8            |
| 経常損益      | 17.1    | 2.3     | 14.7            |
| 純損益       | 17.1    | 3.4     | 13.6            |

診療単価の上昇による増  
医業収益は増加薬品費の増、  
光熱水費・燃料費  
高騰の影響に  
よる増新型コロナによる  
新対応補助金の増

約17.1億円の黒字

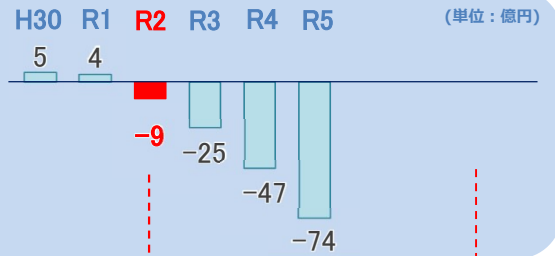
※主な収益費用を抜粋している。各数値は項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合がある。

# 緊急的な取組による内部留保資金枯渇時期の先送り

平成30年度  
決算

令和2年度以降、内部留保資金が枯渇し、  
資金不足に陥る事態が想定された※

※一定の条件で病院事業会計の収支を試算



令和元年度  
～

病院局では、緊急的な取組※を策定・実施

- ① 収支改善必要額 ▶ 74億円
- ② 取組期間 ▶ 令和元～令和5年度（5年間）

※『新潟県病院事業の経営改善に関する緊急的な取組』

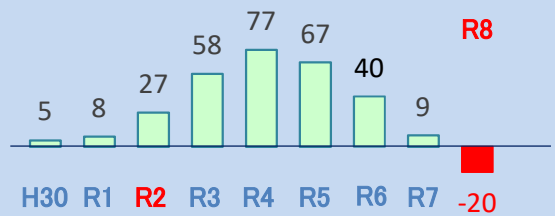
枯渇時期の  
先送り

令和3年度  
決算

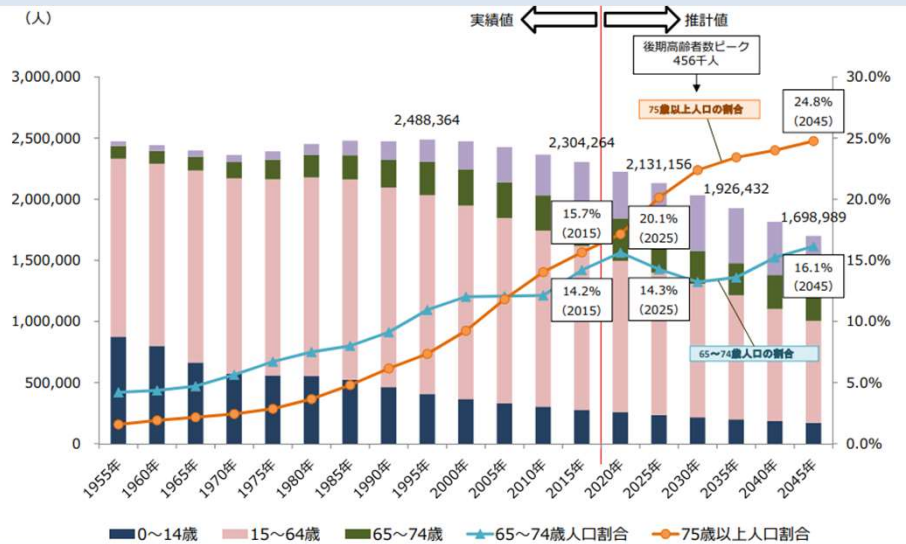
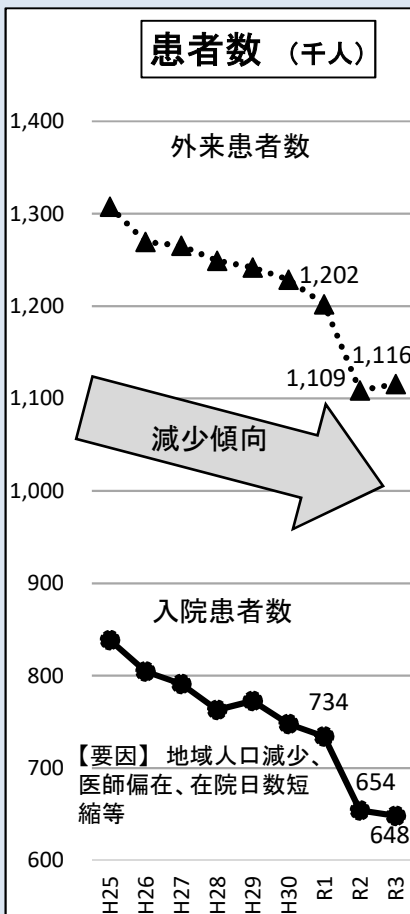
①内部留保資金枯渇は令和8年度以降に先  
送りになる見込み

②新型コロナウイルス感染症収束後の患者  
数の回復は不透明（下記参照）

→引き続き、危機感を持った取組が必要



## ポストコロナはどうか？ ～データから見た患者さん予想～



【出典】令和2年度第1回新潟県地域医療構想調整会議 参考資料

- ・ 外来・入院とも患者数は減少傾向で、特に令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく減っています。（左図参照）
- ・ 令和3年度の患者数は前年度から横ばいでしたが、県人口の減(直近20年で約20万人減)や人口構造の変化に伴う医療需要の変化(少子高齢化)、新型コロナウイルス感染症がもたらした受療行動の変化を考えると、以前の水準に患者数が戻るのかは不透明です。